

date 2025.07.10 kick off 16:30
 system 3-3-1 VS ヨンスク区 U-12
 venue ヨンダムグリーン体育公園
 match time 20分×3本

$$6 \begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 2 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix} 1$$

	監督	所属
	野田 侑成	静岡トレーニングセンター

	選手氏名	所属チーム
1	ヒロヤマ コウ 広山 滉	静岡横内SSS
2	キタハラ アサト 北原 旭登	葵 FC
3	フジナミ コウスケ 藤浪 航祐	葵 FC
4	マエダ アサ ヒ 前田 旭陽	葵 FC
5	イシカワ ソウ タ 石川 湊太	カワハラ FC
6	コスギ ユウ 小杉 侑	カワハラ FC
7	タナカ ユウセイ 田中 勇誠	FC ガウーショ
8	モリモト ソラタ 森本 宙太	キューズFC静岡
9	ムロフシ ユイト 室伏 結斗	静岡横内SSS
10	ヨネカワ カケル 米川 翔	静岡横内SSS
11	トザキ ユウゴ 登崎 優吾	SHIZUNAN FC
12	キハラ ケン ト 木原 絢大	西豊田SSS
13	タカハシ ヤマト 高橋 大和	東豊田SSS
14	モリヤ ロ ナ 森谷 路凧	東豊田SSS
15	ヤザキ ト フ 矢崎 叶和	東豊田SSS
16	ナカムラ イシン 中村 一心	西豊田SSS

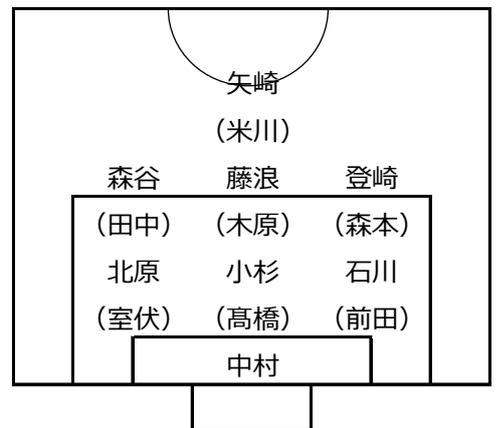
first



second



Third



memo

初戦。厳しい暑さの中+移動日の試合。
 能力の高い相手に対してボールを保持（大切）にしながらゲームを優位に進められるよう準備・立ち位置など細かいところまで意識することをMTにて伝えました。立ち上がりに得点を奪う事ができ優位に試合を進める事ができた中で、最後の質・ロングボールを多用してくる相手に対する対応は課題が残る試合となった。
 良かった点は1試合目にしてチーム内の競争が生まれた事。
 2本目に出場した選手たちが高パフォーマンスを披露し3本目の途中から出場した選手も感化され自分の特徴を披露し結果にも繋がりました。
 この韓国遠征で経験に加えてチーム内の競争を意識させる事ができれば更なる成長が期待できる。

date 2025.07.11 kick off 17:00
 system 3-3-1 VS テドン小
 venue テドン小

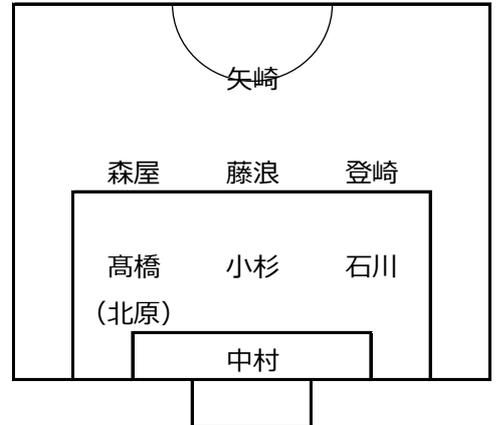
$$6 \begin{pmatrix} 1 & - & 2 \\ 1 & - & 1 \\ 4 & - & 0 \end{pmatrix} 3$$

match time 20分×1本・25分×2本

監督	所属
野田 侑成	静岡トレーニングセンター

選手氏名	所属チーム
1 ヒロヤマ コウ 広山 滉	静岡横内SSS
2 キタハラ アサト 北原 旭登	葵 FC
3 フジナミ コウスケ 藤浪 航祐	葵 FC
4 マエダ アサ ヒ 前田 旭陽	葵 FC
5 イシカワ ソウ タ 石川 湊太	カワハラ FC
6 コスギ ユウ 小杉 侑	カワハラ FC
7 タナカ ユウセイ 田中 勇誠	FC ガウーショ
8 モリモト ソラタ 森本 宙太	キューズFC静岡
9 ムロフシ ユイト 室伏 結斗	静岡横内SSS
10 ヨネカワ カケル 米川 翔	静岡横内SSS
11 トザキ ユウゴ 登崎 優吾	SHIZUNAN FC
12 キハラ ケン ト 木原 絢大	西豊田SSS
13 タカハシ ヤマト 高橋 大和	東豊田SSS
14 モリヤ ロ ナ 森谷 路凧	東豊田SSS
15 ヤザキ ト フ 矢崎 叶和	東豊田SSS
16 ナカムラ イシン 中村 一心	西豊田SSS

first



second



Third



memo

2日目は強豪テドンとの試合。1本目は前日とのスピード感・クオリティ
 身体能力の違いに対応できず連続失点。ただ時間が経つにつれて
 対応していき自分たちのペースを掴む事ができた。

2本目は相手の闘い方に対応する為、背後の動きを意識するように
 ハーフタイムに伝え相手コートでのプレータイムが増える。その中で選手達が
 特徴を発揮しチャンスの数も増えらしく戦うことが出来た2本目となった。

3本目もチーム全体でやる事を明確にしゲームをうまく支配でき複数得点
 を取る事ができた。またDFラインも集中しライン設定やロングボールへの
 対応も素晴らしくテドン相手に内容・結果ともに素晴らしいゲームとなった。
 この成功体験を過信せず課題を残り2日間で修正していく。

date 2025.07.12 kick off 9:30
 system 3-3-1 VS チュンチョンスポーツクラブ
 venue テドン小
 match time 20分×3本

$$6 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 4 & - & 1 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix} 1$$

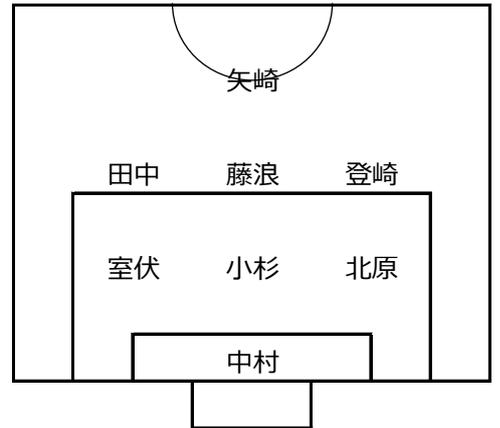
	監督	所属
	野田 侑成	静岡トレーニングセンター

	選手氏名	所属チーム
1	ヒロヤマ コウ 広山 滉	静岡横内SSS
2	キタハラ アサト 北原 旭登	葵 FC
3	フジナミ コウスケ 藤浪 航祐	葵 FC
4	マエダ アサヒ 前田 旭陽	葵 FC
5	イシカワ ソウタ 石川 湊太	カワハラ FC
6	コスギ ユウ 小杉 侑	カワハラ FC
7	タナカ ユウセイ 田中 勇誠	FC ガウーショ
8	モリモト ソラタ 森本 宙太	キューズFC静岡
9	ムロフシ ユイト 室伏 結斗	静岡横内SSS
10	ヨネカワ カケル 米川 翔	静岡横内SSS
11	トザキ ユウゴ 登崎 優吾	SHIZUNAN FC
12	キハラ ケント 木原 絢大	西豊田SSS
13	タカハシ ヤマト 高橋 大和	東豊田SSS
14	モリヤ ロナ 森谷 路凧	東豊田SSS
15	ヤザキ トフ 矢崎 叶和	東豊田SSS
16	ナカムラ イシン 中村 一心	西豊田SSS

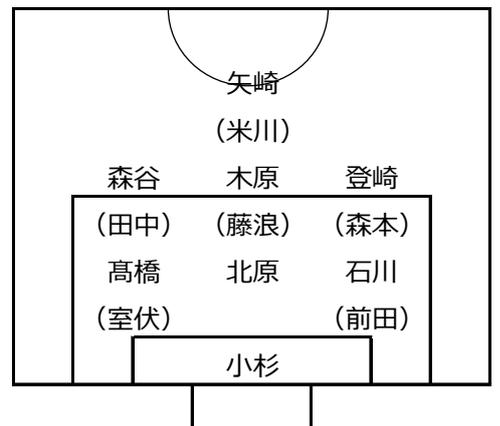
first



second



Third



memo

前日いい形で終えた中での3日目。1本目は奪ったボールを失う事が多く中々ペースを作れない。前日までいいゲームをしていただけに少し残念な1本目となった。ハーフタイムに意識をもう一度再確認。今何をすべきか？何のためにここに来ているのか？メンタル面含め選手達とともに頭の整理を心がけた。2本目以降ようやくスイッチが入りアグレッシブに攻守共に行いゲームを進める事ができた。引き続き最後の質には課題が残るものの選手同士で喋る光景が増えた事と、試合中喋れなかった選手が積極的に声を出すなど成長が見られるシーンを増えてきた事はとても収穫となった。

date 2025.07.12 kick off 17:00
 system 3-3-1 VS ドリームサッカー
 venue テドン小
 match time 20分×3本

$$3 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix} 1$$

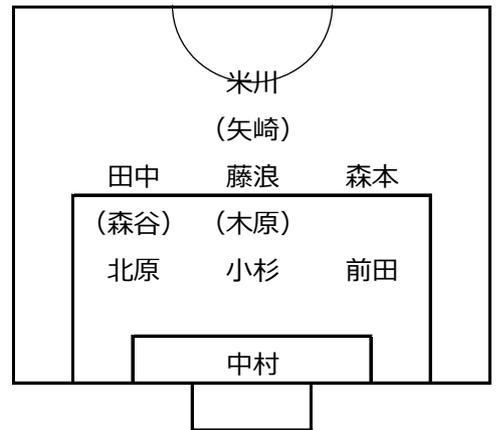
	監督	所属
	野田 侑成	静岡トレーニングセンター

	選手氏名	所属チーム
1	ヒロヤマ コウ 広山 滉	静岡横内SSS
2	キタハラ アサト 北原 旭登	葵 FC
3	フジナミ コウスケ 藤浪 航祐	葵 FC
4	マエダ アサヒ 前田 旭陽	葵 FC
5	イシカワ ソウ タ 石川 湊太	カワハラ FC
6	コスギ ユウ 小杉 侑	カワハラ FC
7	タナカ ユウセイ 田中 勇誠	FC ガウーショ
8	モリモト ソラタ 森本 宙太	キューズFC静岡
9	ムロフシ ユイト 室伏 結斗	静岡横内SSS
10	ヨネカワ カケル 米川 翔	静岡横内SSS
11	トザキ ユウゴ 登崎 優吾	SHIZUNAN FC
12	キハラ ケン ト 木原 絢大	西豊田SSS
13	タカハシ ヤマト 高橋 大和	東豊田SSS
14	モリヤ ロ ナ 森谷 路凧	東豊田SSS
15	ヤザキ ト フ 矢崎 叶和	東豊田SSS
16	ナカムラ イシン 中村 一心	西豊田SSS

first



second



Third



memo

疲れがある中でのゲーム。ドリームサッカーは他チームとは戦い方が異なりかなりコンパクトにしてくる闘い方で選手たちも苦戦。特にチャンスを作ることもなくスコアレスにて2本目へ。まずは選手達同士での改善を求めながら、幅を使う意識と3人目の使い方、ポケットへの侵入を意識させる。2本目は1本目に比べチャンスは作れるものの最後のところで決められずともスコアレスにて終了。本日もラスト試合、翌日に再度テドンとの試合をあったことから喝を入れ直し最終試合へ。体も一番動き、尚且つ戦う選手が増え高い強度を最後にて実行する事ができた。言われてからやるのではなく、モチベーションをどこに持っていくのか？自分自身も勉強になったゲーム。暑い中選手達は3日目の2試合をよく乗り切り、結果も素晴らしいものとなった。

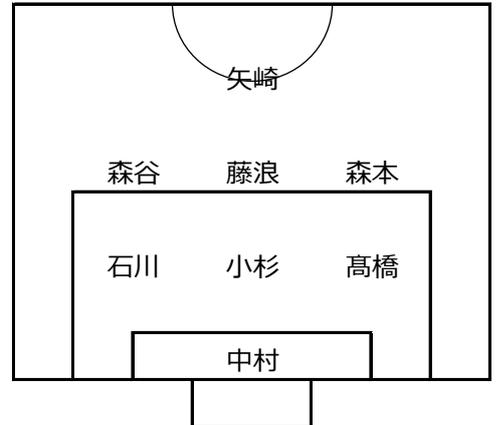
date 2025.07.13 kick off 9:00
 system 3-3-1 VS テドン小
 venue テドン小
 match time 20分×3本

$$4 \begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 1 & - & 2 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix} 4$$

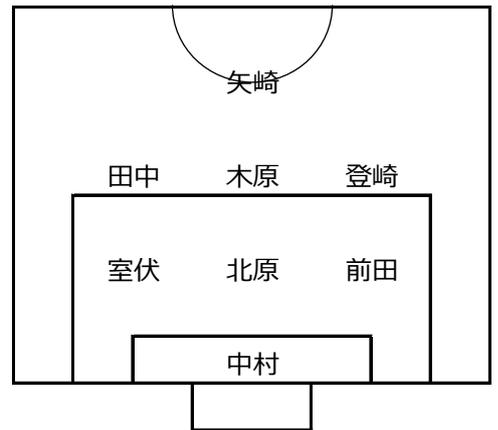
	監督	所属
	野田 侑成	静岡トレーニングセンター

	選手氏名	所属チーム
1	ヒロヤマ コウ 広山 滉	静岡横内SSS
2	キタハラ アサト 北原 旭登	葵 FC
3	フジナミ コウスケ 藤浪 航祐	葵 FC
4	マエダ アサヒ 前田 旭陽	葵 FC
5	イシカワ ソウタ 石川 湊太	カワハラ FC
6	コスギ ユウ 小杉 侑	カワハラ FC
7	タナカ ユウセイ 田中 勇誠	FC ガウーショ
8	モリモト ソラタ 森本 宙太	キューズFC静岡
9	ムロフシ ユイト 室伏 結斗	静岡横内SSS
10	ヨネカワ カケル 米川 翔	静岡横内SSS
11	トザキ ユウゴ 登崎 優吾	SHIZUNAN FC
12	キハラ ケント 木原 絢大	西豊田SSS
13	タカハシ ヤマト 高橋 大和	東豊田SSS
14	モリヤ ロナ 森谷 路凧	東豊田SSS
15	ヤザキ トフ 矢崎 叶和	東豊田SSS
16	ナカムラ イシン 中村 一心	西豊田SSS

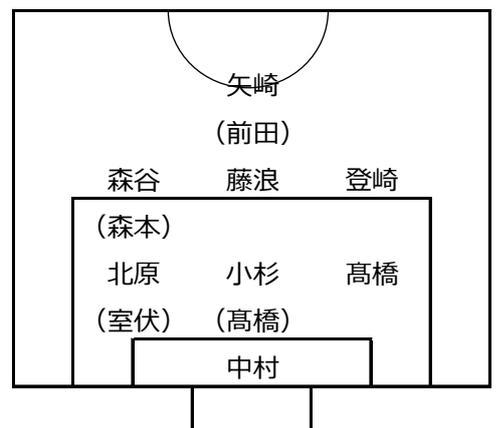
first



second



Third



memo

最終日 テドンとのゲーム。

前回勝ちを収めた相手。テドンも負けられない為アップから気合いを感じ独特の会場の雰囲気でのゲームとなる。

1本目は相手の気持ちが強く受け身になるシーンが多く1つのミスから失点。立て続けに2失点目を奪われ終了。

ただ韓国ですごく良かったのはうまくいかない時の修正。今日もここで発揮

2本目は相手の闘い方から少し自分たちのやり方を変え、スペースをうまく使えるようになり五分五分の試合展開。得点を奪うも

競り負け2本目は1-2。最後の試合は全員でこの韓国での成長をピッチ内で表現しよう！と送り出す。

3本目は正直ここまでできるのかと驚いたのが正直な感想。球際で負けない。準備を怠らない。全員でハードワークする。尚且つ果敢にゴールを目指す。ラスト5分で途中出場の森本が2得点。

みんなで喜び、公式戦のような雰囲気を味わえた事。1つのミスが失点に繋がる。そんな緊張感の中最後締められた事が最後に相応しいゲームとなった。最後の最後にやはり子供達の可能性は無限。と心から感じた。